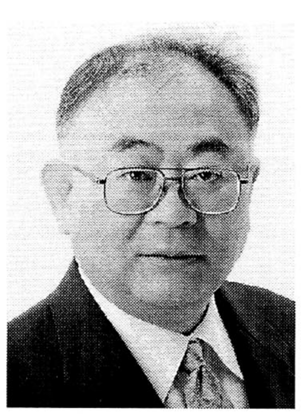
選挙公報

青森県選挙管理委員会
＜お問い合わせ先＞
電話：017－734－9076

 ※青森県第４区の区域は、青森市（旧浪岡町の区域。旧青森市の区域は青森県第１区です。）、弘前市、黒石市、つがる市、平川市、西津軽郡、中津軽郡、南津軽郡です。



日本共産党

千葉こうき 浩規

（５１歳）

消費税増税中止、ＴＰＰ絶対反対、即時原発ゼロを

民主党は公約を投げすて、自民党と変わらなくなりました。長く続いた「自民党的政治」から決別の時です。「アメリカいいなり・財界中心の政治」を断ち切って「国民が主人公」の新しい日本をつくりましょう。

●デフレ不況からの抜け出しを

国民の所得を減らし、内需を壊す、消費税の大増税を中止します。国民の所得を増やすため、大企業の２６０兆円の内部留保（ためこみ）を、雇用や中小企業に還元します。

●社会保障の充実と財源の確保を

年金引き下げ、医療や介護費用負担増、保険料の引き上げをやめさせます。

不要不急の“公共事業”や軍事費の削減、法人税減税をやめます。富裕層・大企業に応分の負担を求めるなど、能力に応じた税負担に変えます。

国民の所得を増やす経済改革をすすめます。

●ＴＰＰ絶対反対。安保条約を廃棄し対等・平等の日米関係をめざします

「例外なき関税ゼロ」で日本農業に壊滅的打撃を与え、食の安全と医療を壊すＴＰＰは絶対反対です。

オスプレイ配備の撤回を要求し基地のない平和な日本をめざします。

海外で戦争する、憲法違反の「集団的自衛権」行使を許しません。安保条約を廃棄し、対等・平等・友好の日米関係をめざします。

●即時原発ゼロの実現を

停止させたままで全原発を廃炉にします。「再処理施設」を閉鎖し、原子炉の輸出を禁止します。

再生可能エネルギーへの転換で、日本経済の持続可能な成長をめざします。

略　歴

弘前大学農学部卒。
共産党職員１７年。
現在、党津軽地区委員長。

東北の命づな、高橋ちづ子（比例代表）を国会へ

比例代表は **日本共産党** とお書きください

政党が離合集散するなか

ぶれずに国民の立場つらぬく

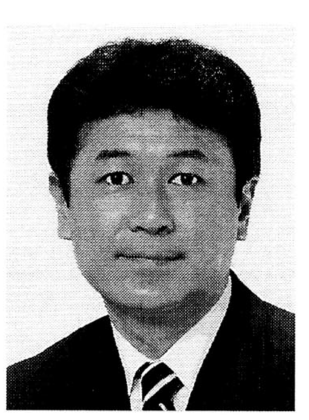
日本共産党は党をつくって９０年。ぶれずに国民の立場でスジを通す政党です。政党助成金や企業・団体献金も拒否。草の根で国民と結びついて活動しています。

改憲・タカ派と対決

いま憲法9条をはじめ、平和憲法を改悪しようとするタカ派の逆流がおこっています

日本共産党は戦前の暗黒政治と侵略戦争に命がけで反対した政党です。

逆流とキッパリ対決します。



自民党公認

木村太郎

（47歳）

私はブレない！日本再起

私の決意

今　正に「政治本来の使命達成」が求められています。国民を守り、幸せにするためにあるべき政治が、日本に於いては急激に失われつつあります。

より良い社会、祖国、ふるさとを創り、政治の使命を果たすことが、私の初心であり原点です。

年配の方々から子供達まで、みんなが安心・安全に暮らせる日本を「ブレることなく再起動」させるため、地方に配慮した景気対策、雇用増大、教育・子育て支援、医療・介護・年金の持続可能な社会保障制度など、「日本再起」を期し闘います。

六期目に向けて、地元みなさまの引続いてのご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

日本の安全と成長

- 自立した日本の総合的な安全保障の確立（日米同盟の強化、領土の保全など）
- 憲法改正による日本の再出発（基本的人権・家族の尊重、平和主義、国際協力など）
- 資源・環境・エネルギー・食料の安全保障対策（持続可能な電源確保、CO_2 削減など）

本気で「安心・しあわせづくり」

- 持続可能な社会保障制度の確立
- 真に必要な医療の提供、介護サービスの確保、少子化の克服、保育制度の拡充
- 円高・デフレ対策、バラマキから成長に転換、金融緩和、雇用増大、子育て支援など
- 事前防災・減災対策の推進、学校耐震化促進、大震災からの復旧・復興の加速

再チャレンジ可能社会

- 教育・人材育成（幼児教育の無償化、就学援助の拡充、公私間格差の解消、いじめ対策など）
- 地域・産業振興（中小企業・商店街の活性化）、雇用対策など
- 農林水産予算の大幅復活、農家所得の向上・担い手育成、リンゴの経営安定化、TPP反対

起こす！日本と青森の底力

- 雪対策、津軽ダム早期完成、岩木川等の河川改修、「白神山地」の保全
- 防災公共の推進、交通網の整備（津軽自動車道、津軽横断道路、西津軽能代沿岸道など）
- 持続可能な力強い農業実現、自然・歴史・文化・スポーツなど青森・津軽の底力の活性化

プロフィール

内閣　防衛庁副長官（副大臣）
　　　農林水産・防衛各政務官
国会　衆議院安全保障常任委員長
　　　決算行政監視委員会筆頭理事
政府　国土交通省国土審議会特別委員
自民党　筆頭副幹事長　県連会長
　　　社会保障制度調査会副会長
　　　文教制度調査会副会長
　　　雇用・生活調査会副会長
　　　果樹農業振興議連副会長

昭和40年　南津軽郡藤崎町に生まれる（47才）
59年　弘前南高等学校卒業
63年　東洋大学法学部法律学科卒業
平成元年　外務大臣　秘書
3年～　県議会議員　当選（2期）
8年～　衆議院議員　当選（5期）

家　族／妻　真紀子（西郡鰺ヶ沢町出身）
長女　桜（大1）　次女　楓（小6）
長男　洸太（高1）　三女　梓（小4）

比例代表も自民党へ

民主党公認　青森4区立候補者

つしま きょういち

つがるのしあわせまっしぐら！

前へ!!

みなさまのご期待によって誕生した政権が、そのご期待に十分に応えられなかったことに真摯に反省を致します。

その一方で、今まで出来なかった政策が一歩ずつではありますが、着実に動き始めています。古い政治に逆戻りさせないために、足らざるところを鍛え直して、日本の政治を「前へ」進めて参ります。

国土交通大臣政務官、民主党果樹議連会長、衆議院農林水産委員会筆頭理事等で手がけた主な仕事

- 津軽自動車道鰺ヶ沢道路の着工式を執り行いました。
- 青森県の懸案であった国道45号天間林道路の新規採択を決断しました。
- 国道7号古懸交差点（碇ヶ関）事業に着手し、隣接する不動橋の架け替えをします。
- 国道7号沢田交差点の改良を事業化して、渋滞緩和に努めました。
- 旧碇ヶ関跨線橋（平川市）を改修して、道路の安全を確保します。
- 豪雪に対して、政治主導として財務省の予備費を捻出させました。
- 青森県に対する除雪費を増額させました。（伸び率全国第3位）
- 臨時特例措置として、市町村道への直接補助を実施させました。
- 不足していた除雪機材の貸与を即断（日曜日に要望を受け翌日すぐに）実行しました。
- 三陸復興道路と石巻の街づくりを着工できました。

- 果樹（りんご）経営安定対策事業として、経営緊急対策を創設しました。
- 改植事業に伴う未収益期間（5年間）の支援を決定しました。
- 農業の戸別補償を実現し、小麦、大豆等に拡大します。

- 子育てを支援し、支給対象を中学生までに拡充しました。
- 高校（公立）無償化を実現しました。
- 文教関係予算を増額させました。
- 雇用保険法を改正し、原則すべての労働者を雇用保険の適用対象としました。
- 求職者支援制度を創設して、生活費を受けながら職業訓練が出来るようにしました。
- 抑制されていた社会保障費を拡充実行しました。
- 診療報酬をプラス改定させ、地域医療の充実に努めました。
- 経済成長戦略を策定して、6次産業化等を推進しました。

津島恭一のプロフィール

●

昭和29年2月4日、青森県北津軽郡金木町に生まれる。祖父は金木町長を務めた英治。また、祖父の弟は作家太宰治。現在58歳。

●

武蔵大学経済学部を卒業後、衆議院議員田澤吉郎氏の秘書として勤務。
のちに政策担当秘書として、政治活動の実務を支える。

●

衆議院比例区東北ブロックにおいて3期当選。
前 国土交通大臣政務官
座右の銘は「清廉一徹」

The Democratic Party of Japan
民主党

比例区も民主党へ

衆議院議員総選挙

衆議院議員総選挙 投票日

12月16日㈰

○投票時間

午前7時から午後８時まで

ただし、市町村の一部の投票所では、投票時間を変更していますのでご注意ください。

○期日前投票

投票日に用事があるなどの理由で投票できない人は、あらかじめ、各市町村の選挙管理委員会で期日前投票をして、棄権しないようにしましょう。

詳しい手続きについては、県または市町村の選挙管理委員会にお尋ねください。

○投票の方法

＜小選挙区選挙＞

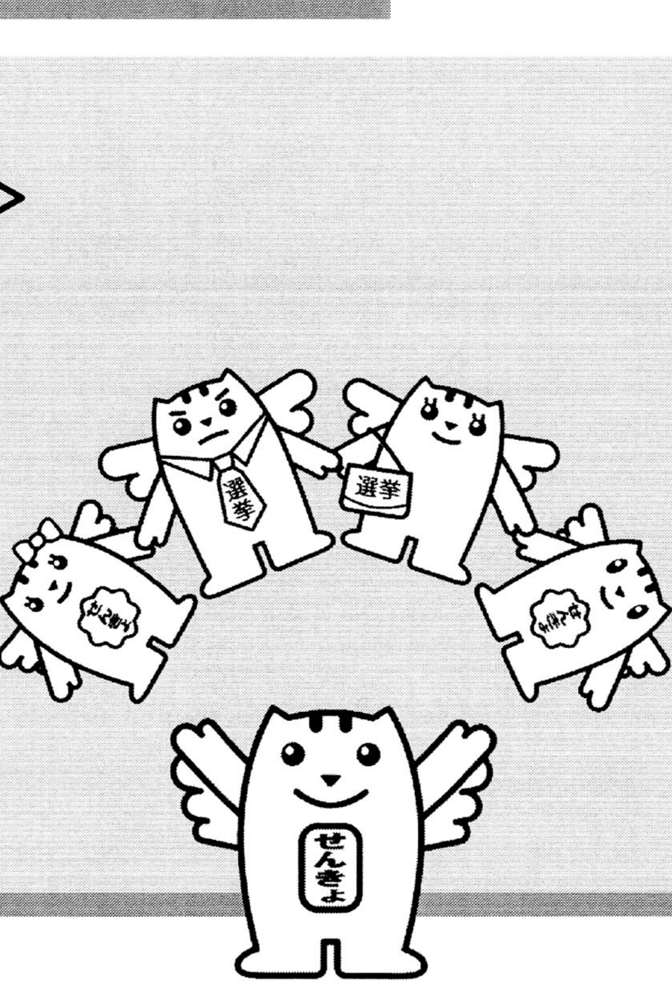
候補者に投票します。

投票用紙(白色)には、候補者の氏名を記入してください。

＜比例代表選挙＞

政党等に投票します。

投票用紙(うすい水色)には、政党等の名称又は略称を記入してください。



※平成１７年４月１日に旧青森市と旧浪岡町が合併してできた青森市については、旧青森市の区域が「第１区」、旧浪岡町の区域が「第４区」となっております。なお、自分の選挙区を確認の上、投票して下さい。